

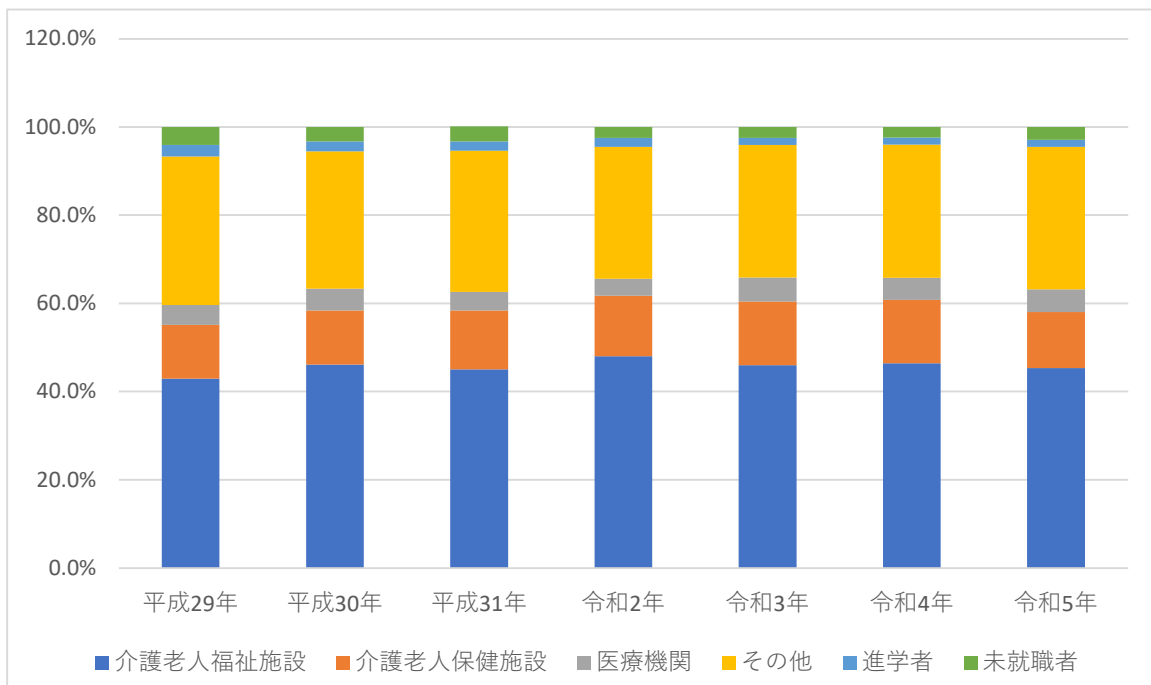
令和5年3月卒業生 進路調査報告

全国 314 校の令和 5 年 3 月卒業生を対象に進路調査を実施しました。今年度の回収率は 98.1%であり、卒業生数では 6,054 人(うち離職者訓練生(以下、「訓練生」)は 583 人、外国人留学生(以下、「留学生」)は 1,941 人でした。

〈卒業生進路先別比率 最近6カ年の推移〉～抜粋～

毎年 3 月 31 日現在

区分	種別	平成 30 年	平成 31 年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年
就職決定	介護老人福祉施設	46.1%	45.0%	48.0%	46.0%	46.4%	45.3%
	介護老人保健施設	12.3%	13.4%	13.7%	14.4%	14.4%	12.7%
	医療機関	4.9%	4.2%	3.9%	5.5%	5.0%	5.2%
	その他	31.2%	32.0%	29.9%	30.0%	30.2%	32.3%
	計	94.5%	94.5%	95.5%	95.9%	96.0%	95.5%
進学者		2.2%	2.1%	2.0%	1.6%	1.6%	1.6%
未就職者		3.3%	3.4%	2.5%	2.5%	2.4%	2.9%
合計		100%	100%	100%	100%	100%	100%



○卒業生の就職先傾向に大きな変化は見られません。

○介護老人保健施設への就職割合が少し低くなりました。

【 調査項目に即した数字データ 】

＜卒業生数内訳＞

	卒業生数	左のうち国家 試験受験者数	左のうち国家 試験合格者数	合格率
卒業生数	6,054 人	5,779 人	4,740 人	82.0%
うち離職者訓練修了者数①	583 人	579 人	578 人	99.8%
うち外国人留学生数 ②	1,941 人	1,861 人	935 人	50.2%
①、②以外	3,530 人	3,339 人	3,227 人	96.6%

○ 訓練生の合格率はほぼ 100%で、留学生の合格率が初めて 5 割を超えました。

＜種別内訳＞

(単位:人)

	就職人数	うち訓練生数	うち外国人 留学生数
介護老人福祉施設	2,745	169	884
介護老人保健施設	767	59	288
医療機関	312	19	162
自立支援施設	414	87	58
有料老人ホーム 福祉関連企業	532	45	313
居宅サービス関連事業 (訪問介護・入浴・グループホーム・デイサービスなど)	688	143	211
児童福祉施設	91	2	1
社会福祉協議会 福祉事務所 公務員	95	7	1
保護施設(救護など)	18	5	2
その他(福祉分野以外)	170	13	7
合計	5,832	549	1,927

○ 居宅サービス関連事業への外国人留学生の就職が、昨年と比較すると、増加しています。

＜居宅サービス関連事業年次推移＞

(毎年3月31日現在、単位:人)

	H30	H31	R2	R3	R4	R5
就職者数	599	547	505	527	504	688
うち訓練生	194	197	137	133	118	143
全卒業生数に占める割合	9.13%	7.16%	9.17%	9.48%	8.73%	11.36%

○ 居宅サービス関連事業の就職者割合は過去 5 年間、1 割以内でしたが、外国人留学生の就職者数が伸びて、全体の 1 割を超える状態となりました。

＜その他の就職先(記載のあったもののみ集計)＞

(単位:人)

一般企業(事務職など)	58
小売(飲食・販売など)	26
教育関連(幼稚園など)	17
製造業	7
公務員(警察官、自衛隊など)	7
自営業	3
人材派遣会社	2
その他	2

<進学内訳>

(単位:人)

	H30	H31	R2	R3	R4	R5
大学・大学院 (福祉)	101	96	82	86	66	59
大学・大学院 (医療)	1	3	1	0	3	1
大学・大学院 (その他分野)	5	6	4	6	4	7
短大・専門学校(福祉)	9	5	6	4	4	7
短大・専門学校(医療)	18	13	10	5	8	9
短大・専門学校(その他分野)	7	3	7	5	7	5
合計	141	126	110	106	92	88

- 福祉系大学・大学院への進学者は昨年の 66 人(進学者全体の 71.7%)から 59 人(同 67.0%)に減少しました。

<未就業者>

(単位:人)

	H31	R2	R3	R4	R5
未就業者数 ()は未就業者数/全卒業生数	205(3.6%)	138(2.5%)	139(2.5%)	137(2.4%)	134(2.2%)
うち訓練生 ()は未就業訓練生数/全訓練生数	87(8.9%)	46(6.4%)	13(2.1%)	34(6.0%)	30(5.1%)

- 訓練生のうち、未就業者が 30 名、福祉分野以外への就職者が 13 名、進学者が 4 名おりますので、訓練生の介護職就職率は 91.9%であり、昨年に引き続き、増加しています。
- 留学生のうち、未就業者が 11 名、福祉分野以外への就職者が 7 名、進学者が 3 名おりますので、留学生の介護職就職率は 98.9%であり、昨年と同数となっています。

<未就業者の就職希望状況 >

(単位:人、()は昨年実績)

	就職希望あり	就職希望なし	合計
未就業者数	53(56)	81(81)	134(137)
うち訓練生	19(19)	11(15)	30(34)
うち留学生	5(4)	6(5)	11(9)

- 未就業者のうち、就職希望がありながら就職できなかった卒業生の割合は、昨年の 40.9%とほぼ変わらず、40.0%でした。
- 未就業者のうち、就職を希望しない卒業生の割合も 60.4%であり、昨年の 59.1%とほぼ同じ割合でした。

<就職を希望しない理由(記載のあったもの)>

(単位:人)

家事専念(出産・育児・家業後継などを含む)	21
進路検討中	21
病気療養	14
意欲減退	8
他の学業専念	5
帰国(外国人留学生)	4
就労支援センター	2

- 就職を希望しない理由の記載のあったもののうち、「家事専念」と「進路検討中」で 56.0%と、半数以上を占めています。

○「外国人留学生の帰国」は、昨年度2名から今年度4名と増加しています。

【自由記述欄】

＜就職傾向など特徴的事項(記載のあったもの)＞

(単位:件)

就職先種別について	61
就職活動に関して	55
実習先・アルバイト先施設への就職	37
外国人留学生に関すること	25
複数資格取得に関連して(社会福祉士・保育士など)	21
コロナ禍の影響	7
訓練生の就職傾向について	5
奨学金について	4

○就職先種別としては、全体に高齢者分野の施設への就職が多いとする記載が49件あり、その内20件は、介護老人福祉施設への就職に関する記載でした。その他、有料老人ホームや居宅サービスに関する記載が2件、障がい者関連の求人が増えているとする記載が2件ありました。

○就職活動に関連しては、自宅から通勤のしやすさを重視する記載が15件あり、就職フェアや実際に施設見学を行い、就職先を決定するという記載がありました。給与や手当の額面だけでなく福利厚生を重視する傾向についての記載は9件ほどありました。内定の時期に関する記載は8件で、早期に決定する場合と国家試験終了後となる場合の二極化が窺われました。

○実習先・アルバイト先への就職が多いとする記載が37件あり、特に最終実習は長期間に及ぶ為そのまま就職に至るケースがあるとする記載が2件ありました。

○留学生の就職先は、その多くが奨学金の保証人となった施設だとする記載が20件あり、なかでも入学前からすでに就職先が決まっているとする記載は6件ありました。その他、都市部や駅周辺の事業所を希望するなど利便性を求める傾向があるとする記載が2件ありました。

○複数資格取得に関連して、社会福祉士関連15件、保育士関連6件の記載がありました。

○コロナ禍の影響については、主に実習施設以外の施設を知る機会が減少したことから、実習先へ就職が多くなったとする記載が多くを占めていました。

—以上—